西日本新聞社　2016年9月29日

アジアの都市問題 人口誘導で解決を

福岡、7ヵ国記者討論

持続可能な都市開発をテーマにした第11回アジア都市ジャーナリスト会議＝国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部主催、西日本新聞社共催＝が28日、福岡市・天神のアクロス福岡で開かれた＝写真（撮影・中村太一）。参加7カ国の記者は、行き過ぎた都市化と人口集中がさまざまな弊害をもたらすと指摘。地方へ人口を誘導して地域再生を目指す方向性で一致した。

急速な都市化と人口増が進むインド、モンゴル、タイ、ベトナムの記者は自国の都市問題を紹介。ベトナムの記者は「ハノイでは大量の廃棄物が郊外に野ざらしにされ、汚水は10％しか処理されない」と報告した。

中国、韓国、日本の記者は、都市周辺で深刻化する人口減少や高齢化を問題視。中国の記者は「経済発展一辺倒の政策は限界。大都市に資源を集中するのではなく、地域の生活を大切にすべきだ」と訴えた。

記者たちは福岡都市圏で視察した空き家対策などを参考に意見交換。「都市から地域へ人口を誘導できれば、両方の問題を緩和できる」などと語り合った。